

令和2年度(2020年度)第2回北海道病院事業推進委員会 議事概要

1 日時及び場所

令和2年(2020年)8月17日(月)18:00~20:00

T K P札幌ビジネスセンター赤れんが前(札幌毎日会館) 5階 はまなす

2 出席者

(委員) 小熊委員長、土橋委員、寺田委員、松原委員

(道側) 鈴木病院事業管理者、栗井部長、東次長、橋本次長、笹谷病院経営課長、石井人材確保対策室長、有村経営改革課長、小俣経営改革推進指導官、各道立病院・子ども総合医療療育センター事務長、主査(経営戦略) ほか

3 議事概要

①令和元年度(2019年度)北海道病院事業改革推進プラン点検・評価書について

②令和2年度(2020年度)第1四半期道立病院経営状況・取組実績について

・事務局より説明を行った後、質疑応答、意見交換が行われた。

4 委員の主な発言

(経営改善に向けた評価について)

- 病院と本庁が連携しながら、病院の質や職員のモチベーションを高める取組、地域との連携を図る取組を進めており、引き続き積極的に取り組んでいく必要がある。

(向陽ヶ丘病院について)

- 精神科病院の病床利用率は低下傾向にあり、利用率を上げていくことは難しいのではないかと。また、デイケアも様々なサポート体制があり、ニーズも減少している。こうした中で、訪問看護や加算の取得による増収を図っていることは評価できる。

(緑ヶ丘病院について)

- スーパー救急や児童精神医療といった、民間病院が手を出しにくい(非採算部門)で独自性を出しており、評価できる。

(羽幌病院について)

- 総合診療医を中心とした若手の育成の場として、評価できる。学生にとっても、魅力的なプログラムとして写っている。

(江差病院について)

- 「地域医療連携推進法人」制度を活用した取組を進めること。また、精神科病床の今後の方向性について検討をしていく必要がある。

(全体評価について)

- もう少し具体の言葉を入れた委員会点検・評価にする必要がある。